

# 令和5年度 藤木小学校経営方針

北九州市立藤木小学校  
校長 外山典子

## 1 はじめに

学校の主役＝子ども 準主役&プロデューサー＝先生

学校は子どものためにあり、子どものよりよい成長のために全職員で組織的、計画的に教育活動を進めていくところである。したがって、「よい学校」とは、よい教師が、よい環境で、よい教育実践を行うところでなければならない。この考え方に立脚し、今年度の学校経営を進めていきたい。

## 2 本市指導の重点より

- 授業においてICTを積極的に活用し、より学習のねらいを達成できるようにする。
- 補充的な学習を組織的に行い、習熟度に応じた個別最適な学びが実現できるようにする。
- 日頃からスクールプランの達成を目指して、PDCA サイクルを意識した学習を行い、児童生徒の資質・能力を育成する。
- 中学校区で目指す子どもの姿や教育目標を設定し、小・中学校 9 年間を見通して、積極的に指導・支援する。
- 「身近に本、気軽に読書」を合言葉に、校内の読書活動を推進し、学校図書館の積極的な活用を図る。
- 英語教育の五つの領域のバランスのよい育成を図るために、児童生徒の発達の段階に 応じて、「やり取り」・「即興性」を意識した言語活動を通して、「話すこと」の力を育成 する授業実践を行う。
- 「SDGsの視点を踏まえたシビックプライドの醸成」を目指し、学校や地域の特色 等をとらえた実践を行う。

「一時間一時間の授業の中に、教育のすべてがある」

「一人一人に『生きる力』をはぐくむ学校教育の創造」を目指し、北九州市独自の施策を実施していくことが計画されている。

また、以前から「指導の重点」の基本方針の最後には、「一時間一時間の授業の中に、教育のすべてがある」と示されている。これは、児童の実態、学校に期待されること、これからの教育の進むべき方向性などを教師が十分に理解し、それを実現できる力（授業力）を身に付けることなくして、よりよい学校教育はありえないことを示している。今年度も、その点を重く受け止めたい。

## 3 めざす学校像

温かい信頼と一体感で結ばれ、通うのが楽しくなる学校＝働くのが楽しくなる学校

- 子ども相互、子どもと教師、職員相互、学校と家庭、学校と地域が、共に信頼し合い、励まし合えるような人間関係や集団づくりに努める。子どもの居場所があり、居甲斐がある学級・学校になるように支持的な風土に支えられた学校を目指す。
- また、教師にとっても通勤するのが楽しくなる学校を目指す。

#### 4 めざす教師像

- 愛情と情熱あふれる教師
- 子どもの力を伸ばすため、日々の授業を大切にしている教師
- 子どもと共に遊び、働き、語り、きびきびと行動する教師
- 子どもと明るく接し、温かい言葉かけをする教師
- 自己の実践を振り返り、厳しく自己評価する教師

笑顔と涙と信念・根気

#### 5 めざす校長像

- 児童・教職員・保護者・地域の声をしっかり聞き、総合的で適切な判断ができる校長
- 教職員集団の先頭に立ち、自ら範を示しながら率先して教育活動に当たることができる校長
- 学校全体の士気を高め、組織的な取組が実現するよう様々な場面で適切な指示が出せる校長
- 教育活動の成果やよさをPRするとともに、保護者や地域への啓発を積極的に行う校長
- 各教職員のよさを的確に把握し、それを本校教育の充実向上のために生かせるように適切な指導ができる校長

#### 6 具体的には

- ◆ 子どもと共に学び、生活する姿勢を忘れないようにしよう。  
(共に掃除をし、遊び、給食を食べ、語り合う教師でいたい。・・・給食は各班に入って共にしよう！)
- ◆ 備品管理の徹底を！  
(公共のものを大切にする模範を！次に使う人への心遣いを忘れずに！)
- ◆ 電話や来訪者（保護者、ヘルパー、業者など）への対応は誠意をもって、適切に！  
(「信頼」は出会いと第一印象から。)
- ◆ 健康一番。  
(異変に気付いたら、早めの対応を！)
- ◆ 明るい職場は活力の源。笑いがある職員室を創っていきましょう！  
一人一人が楽しい職員集団づくりに心がけ、藤木小の子どもたちのためにがんばりましょう！  
(先生がプラスの思いを前面に出し、元気でないと、子どもは伸びない、育たない。)

雑談研修

- ◆ 挑戦意欲をもちましょう！  
新たなことに挑戦することを恐れない。失敗したら校長が責任を取る。挑戦しないまま消化不良感を残すより、挑戦して失敗する方が価値が高い。
- ◆ 教師も一人間・一社会人です。  
時間を守ったり、適切な服装をしたり、基本的なことを忘れないようにしましょう。そして、市民から信頼される教師として仕事をしていきましょう。

#### ◆ 子どもを知る

優れた学級担任は子ども情報に精通している。

<学級担任の情報収集の基本>

◎子どもとの直接的で多様なかわりをもつ

◎保護者とのちょっとした雑談の中からも子ども情報を得る

(先生自身が受容的な雰囲気醸し出す。・・・笑顔とフットワーク)

<正義がまかり通る風土をつくる>

正しいことを言うと、それが批判され、関係が崩れる集団では、安心して自由に話すことができません。

いつも他人の顔色をうかがいながらの学級生活では、学習に没頭して、自分の考えを発言するなどは難しくなります。そんな状態では、学習意欲も高まらず、本気で学ぶことに至らず、結果的には学力も上がりません。正しいことが正しいと言え、間違っていることをきちんと指摘し合える学級に。

笑顔で 明るく 元気よく

あいさつ

大切な命を守る